



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

3月15日号

<http://shiunjies.shibata.ed.jp>

学校の文化

校長 土田 志津子

三寒四温という言葉も、地球温暖化の影響を受けているのでしょうか。小雪のまま春を迎えるのかと思わせる2月でしたが、3月になっての寒さや雪。インフルエンザ流行も、2つの学年の閉鎖で乗り切れるかと思いきや、ここに来て復活しています。

春が待ち遠しいこの頃です。

さて、2月末に「六年生を送る会」を実施しました。1年生が、6年生をエスコートして入場しました。これと似た場面を、私は、約10ヶ月前に見ました。昨年4月に行われた「一年生を迎える会」で、全く同じように1年生と6年生が手を繋いで入場したのです。でも、同じではなかったのです。10ヶ月前は、6年生が1年生の手を引いて歩いてくれたのです。主語と目的語が入れ替わっただけですが、実は、大きな成長の姿を見ることができます。ファミリーで一年間かかわってきたからこそ、*“ほほえましい信頼関係”* だったのだと思います。

また、3月の全校朝会で、子どもたちに「サインはV」（できるようになったこと）の話をしました。全校朝会で、「3分間前集合、1分間前シーン」ができるようになったのです。4月の始業式は、こうはいきませんでした。教頭先生は、全校児童が静かになるまで暫く開式の言葉を言いませんでした。5月からは、全校朝会担当の教務主任が、4、5分前にマイクの前に立ち、静かに成るのを待ちました。子どもたちが場の雰囲気をつかみ、自らの意志で臨めるように、あえて「静かにしましょう」や「始めますよ」などの言葉を言わないことにしてきました。できた月もあったしできなかった月もあり、なかなか全員の気持ちが揃いませんでした。しかし、11月から変容してきました。1年生が真っ先に来て体育座りをして待つようになりました。続いて2、3年生が……。高学年は、時間を見てぎりぎりに来ますが、開始2、3分前になると、誰もが口を閉じ始め、「シーン」と成るようになりました。

学校のような一つの小さな「社会」にも、文化は生まれ、引き継がれ、伝統になります。今年度、子どもたちは、学校行事、ファミリー活動、日々の授業、朝読書、休み時間等々の活動の中で、たくさんの紫雲寺小学校の「文化」を創ってくれました。しっかりと引き継がせたいと思います。そして、また、26年度も新しい文化が築かれていくことを願っています。

子どもたちの活動に、保護者や地域の皆さまから、たくさんのご支援・ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

れんぎょうパトロール隊、稲荷岡1自治会のみなさま、駐在所早川さん

今年度も残すところあと僅かになりました。一年間子どもたちの安全を見守っていただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは事故もなく通学することができました。

今後ともよろしく願いいたします。



～もうすぐ卒業～

担当 木暮 雄大

もうすぐ卒業する6年生。卒業する前に感謝の気持ちを全校の人たち、先生方にどう伝えられるか考え、仕事を分担して取り組んできました。伝統ある紫雲寺小学校の卒業生であることの誇りを胸に巣立ちの日を迎えてほしいと願っています。

☆文集編集

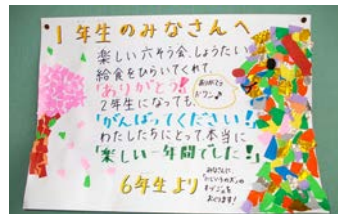
6人の文集係は卒業文集にのせる先生方からのメッセージを依頼したり、中表紙のイラストを描いたりしてくれました。自分たちが協力して作った卒業文集がクラスみんなの思い出に刻まれるように考えて作ってくれました。

☆全校放送

6年生を代表して、2人が全校放送で感謝のメッセージを発表してくれました。招待給食のこと、6送会のことを2人の思いを聞いてもらいました。こうした取り組みが全校みんなを優しい気持ちにさせてくれると思います。1年間お世話になった6年生のことを思い出しながら、2人の放送を聞いてくれたと思います。

☆感謝メッセージ作成

6班に分かれて、6送会のお礼のメッセージを書きました。6送会は一人一人素敵な思い出として記憶に残ったと思います。そんな6送会を企画・運営してくれた5年生をはじめ、全校の子どもたちに感謝のメッセージを書きました。



☆ゆるキャラ作り

全校の人たちに何か残したいという気持ちから、各委員会の「ゆるキャラ」を考えました。8人の委員長を中心に素敵なキャラクターを考えられました。児童玄関前に掲示していますので、ぜひご覧ください。



☆ありがとう感謝弁当作り

6年生は「ありがとう弁当」を作るために、3月の調理実習で弁当作りの練習をしました。けっこう上手にできました。18日当日は6年生全員が心をこめて作って、先生方に6年生全員の気持ちを伝えたいと思います。



うれしかったね！楽しかったね！6送会

2月28日に6送会がありました。下学年からの「ありがとう」の気持ちがいっぱい詰まったあたたかい会でした。とっても嬉しそうな6年生でした。



☆クリーン作戦

6年間お世話になった校舎に感謝して、普段掃除しない所を掃除する計画を立てています。少しでも多くの場所を掃除して卒業します。これからも紫雲寺小学校を大切にしたいと思っています。



「動かぬ鉛筆」

用務手 円山 利也

ある日、私に一つの依頼が舞い込んできた。学校だよりに掲載するエッセイを書いて欲しいとのこと。しかし、私は好んで執筆するタイプではない。書き物が得意かといわれると、むしろ苦手である。否、超苦手である。

そんな私が、執筆するにあたり、まず最初に取りかかったのは「エッセイとは何か？」を知ることだった。私にとって謎の多い「エッセイ」の正確な意味や形式や書き方などを家でインターネットを使い調べてみた。

エッセイとは、日本における随筆のことで、筆者の体験や経験などから文体にとらわれずに書き連ねた物を指すことが多い。形式は、他人に読んでもらおうとすると「起承転結」構造を文書にもたせなければならない。書き方は、テーマ探しと書くまでの準備が大切。抑えておきたいポイントとして、情景描写、自己言及等々。目が悲鳴をあげだし途中でサイトを閉じた。

下調べを終えたところで後日執筆活動に取りかかろうとするも早くもテーマ探しでつまずいた。なかなか書きたいことも思い浮かばず、車を運転中もエッセイのことが頭なら離れない。そんな時に、ふと以前受けた研修での講師の話が脳裏をよぎった。「考え事をしながら車を運転すると自分が通ってきたルートの記憶が抜け落ちることがあります。事故を起こさないためにも運転する時は運転だけに集中してくださいね。」というような一節であった。一つの物事に取り組む時は、そのことだけに意識を集中させることが大切であると再認識した事案である。

ゆえに運転中や他の作業中は頭から一旦エッセイのことを切り離すようにして、執筆の舞台を家に移し、家族が寝静まった夜に勉強机ならぬダイニングテーブルに向かい集中して考えることにした。 【スノーモト&息子】

最近の出来事を書きたいと思った私は、冬を連想してみることにした。冬といえば雪、雪といえばスキー場、スキー場といえば4年位前から始めたスノーモト。ネタにできそうな話題はこれしかないと思い、「冬の楽しみ」なんてテーマを付けて、ようやく鉛筆を動かし書き始めたものの、筆を進めるうちに私はふと思った。待てよ！学校だよりの配布日の頃は受験シーズン真っ只中ではないか？エッセイが受験生並びにその家族の目に止まる可能性もなきにしもあらず。このタイミングで滑るだの、落ちるだの、危険だのとスノーモトの話題をおもしろおかしく書き綴るのはいかながなものか？」「でも他に書けそうな話題なんてないんだよな」自問自答の末、題材を変えることにした。

変更した題材・・・・・・・・それがこのエッセイである。

普段、思考停止しているような頭を使う良い機会をいただき、筋トレならぬ脳トレになって良かったと思う今日この頃である。

エッセー・コーナー

このページは、毎月、学校教職員のエッセーを掲載します。紫雲寺小学校に勤めているわたし達の素顔の一部を知っていただき、学校と保護者、地域の皆さまとの距離を近づけたいと考えました。「同感!」、「新発見!」など気軽に声をかけていただき、話が弾むことを期待しています。



4月の予定

※下校時刻（予定）を載せました。子どもたちの交通安全等で声を掛けていただけるとありがたいです。

| 日 | 曜 | 予 定 | 下校（終了）時刻 | |
|----|---|----------------------------------|------------|------------|
| 1 | 火 | 学年始休業 | | |
| 2 | 水 | | | |
| 3 | 木 | | | |
| 4 | 金 | PTA 三役引継会 | | |
| 5 | 土 | | | |
| 6 | 日 | | | |
| 7 | 月 | 始業式 | 2~4年 10:30 | 5,6年 11:30 |
| 8 | 火 | 入学式 短縮授業3限 | 1年 11:30 | 2~6年 11:50 |
| 9 | 水 | 地区子ども会 集団下校 短縮授業3限 | 全学年 11:40 | |
| 10 | 木 | 給食開始 | 1年 14:45 | 2~6年 15:30 |
| 11 | 金 | 3, 5年知能検査 委員会活動 | 1~4年 15:05 | 5,6年 15:55 |
| 12 | 土 | | | |
| 13 | 日 | | | |
| 14 | 月 | フッ素 | 1,2年 15:05 | 3~6年 15:35 |
| 15 | 火 | NRT 国語テスト(2~6年) | 1~3年 15:05 | 4~6年 15:50 |
| 16 | 水 | NRT 算数テスト(2~6年) | 1,2年 15:05 | 3~6年 15:50 |
| 17 | 木 | 一迎会 | 1年 14:45 | 2~6年 15:30 |
| 18 | 金 | 学習参観(5限) PTA総会/学級懇談会/PTA専門部会/親睦会 | 全学年 14:00 | |
| 19 | 土 | | | |
| 20 | 日 | | | |
| 21 | 月 | フッ素 家庭訪問予備日 | 全学年 15:05 | |
| 22 | 火 | 全国学力テスト(6年) 短縮授業4限 家庭訪問① | 全学年 13:40 | |
| 23 | 水 | 短縮授業4限 家庭訪問② | 全学年 13:40 | |
| 24 | 木 | 短縮授業4限 家庭訪問③ | 全学年 13:40 | |
| 25 | 金 | | 全学年 15:05 | |
| 26 | 土 | | | |
| 27 | 日 | | | |
| 28 | 月 | フッ素 交通安全教室 | 1,2年 15:05 | 3~6年 15:35 |
| 29 | 火 | 昭和の日 | | |
| 30 | 水 | | 1,2年 15:05 | 3~6年 15:50 |

※学級終会等で、上記の下校時刻より多少遅れることがあります。

学校と家庭・地域をつなぐ

学校評議員会



2月19日（水）に第2回学校評議員会が行われました。今年度の知育・徳育・体育面における取組と成果について、学校評議員の皆様からご意見やご感想をいただきました。主なものを紹介します。

知育面では、家庭学習強調週間はとてもいい試みである。小学校のうちから家庭学習の習慣がしっかり身に付くよう今後も継続して取り組んで欲しい。強調週間の期間中はメディアコントロールの面など家族ぐるみで協力する家庭が増えてきている。

徳育面では、ファミリー活動は、異学年交流、地域を越えた子ども同士の交流も盛んになっている。高学年が低学年を思いやる心や良き伝統を低学年が受け継ぐいい活動となっている。今後も自己肯定感を高めていけるような取組をお願いしたい。徳育の評価は難しい面がある。児童アンケートだけでなくより多面的な評価の工夫改善も必要ではないか。

体育面では、日頃から、朝食に赤・緑・黄の食材を取り入れた食事になるよう心掛けてきた。年3回のげんきアップ週間があり、その期間は特に意識して取り組むことができた。また、取組の結果を「げんきアップだより」として知らせてもらい、他の家庭の様子も分かり参考となった。来年度も続けてもらいたい。

学校評議員の皆様からいただいたご意見を次年度の取組に生かしていきたいと考えています。ご多用の中、本当にありがとうございました。

教頭 加藤 義孝